

2017（平成 29）年度 事業報告書

1. 施設名 ひかり幼稚園
2. 種別 保育所
3. 定員 90人
4. 園長名 新美美穂
5. 職員 21人（常勤12人 非常勤7人 パート2人）
（園長 保育士 栄養士 調理師 看護師 事務員 調理員）
6. 園児在籍数 入園16人 退園4人（転園2、転居2）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	1	5	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7
1歳児	16	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
3歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
4歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
5歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17
合計	84	89	90	91	91	91	91	91	91	91	91	90
昨年	89	87	87	87	89	92	93	93	95	95	95	92
昨年比	-5	+2	+3	+4	+2	-1	-2	-2	-4	-4	-4	-2

7. 事業内容

(1) 保育の必要な乳幼児の保育

工事の進捗状況に合わせ、無理なく生活様式を変えていくことにした。縦割りのグループで過ごしたことは子どもにとってよい経験となった。

第二子、第三子の誕生（育児休業）により、年度途中から短時間保育認定者が増えた。

一時預かり事業（熊本市委託事業）実績：利用延べ人数 463人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	11	8	6	10	9	10	13	10	13	9	10	18
1歳児	16	20	20	14	11	8	15	4	3	1	2	2
2歳児	12	26	21	23	21	20	16	16	14	21	13	16
3歳児	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	39	55	47	47	41	38	44	30	30	31	25	36
昨年	46	66	108	138	113	107	133	119	112	97	141	158
昨年比	-7	-11	-61	-91	-72	-69	-89	-89	-82	-66	-116	-122

今年度の特記事項として、保育士確保ができなかったことに加え、工事期間中は一時保育室をもてなかったため、新規の受け入れを断念し、登録しておられる方を同年齢クラスで受け入れた。保育士定数や面積の関係で、受け入れには限界があり、大幅な利用者数の減少となった。ただ、保育を必要としておられた方にとって、本園の保育は預けて安心だったと感謝された。

(2) キリスト教保育

今年度は毎週月曜日の合同礼拝に2歳児も参加した。2歳児にも理解できるような身近な話題、聖書のお話を心がけた。園舎改築のため、起工式を全園児参加のもとで行ったり、働く人への感謝や神様の守りを祈ることが増えた。宗教改革500年マルティン・ルターのバナーや記念グッズにより子どもや保護者もこのことを知るきっかけとなった。クリスマスは、熊本ナザレン教会を借りて行った。降誕劇の練習のために片道30分かけて行かなければならない不便さはあったが、「教会の礼拝堂」でクリスマス礼拝を守ることができたのは恵みであった。

神水教会での礼拝だけでなく、大江教会で宣教研修をした神学生の訪問と礼拝奉仕、大江教会でのコンサートもよい時間であった。

(3) 保育内容

2歳以上児は縦割り保育により、担任同士が連携をとりあい、自由に遊ぶ時間や子ども同士の育ち合いの機会を十分に保障するように努めた。園児同士が年齢を超えて親しくなり、その雰囲気は園全体に（保護者にも）伝わった。保育者は柔軟な考え方や幅広いものの見方を必要としたが、子どもの興味や実際にあわせてそのクラスらしさを表現できたことは評価できる。園庭で遊ぶ機会が減り、その分公園に出かけたが、集団歩行が上手になった。

例年と違う保育体制や行事について、ねらいを明確にし工夫を重ねた。園が意図していることを写真付きの園だよりや途中経過をビデオ編集したもので見せるなど丁寧に説明し、保護者に理解を求めた。

(4) 健康管理・衛生管理

手洗い・うがい、室内の衛生には気を配ったが、ホールでの生活によりインフルエンザの大流行を食い止めることはできなかった。0、1歳児の罹患者が少なかったのは、接触を最小限にしたことによるものである。

主な感染症	インフルエンザ A 型 33 人 インフルエンザ B 型 34 人 手足口病 8 人 RS ウイルス 10 人
内科健診	4・10・2月 全員異常なし 家庭へ通知
歯科健診	6・3月 結果を家庭へ通知 4・5歳児：食後の歯磨きとフッ素洗口
身体測定	毎月末に結果をこひつじノートや連絡帳に記入
その他	職員：年1回健康診断 定期的に腸内細菌検査 調理関係者：毎月腸内細菌検査 ノロウイルス検査 弱視スクリーニング検査（4歳児）

(5) 安全管理・危機管理

園外保育の際はルートを事前に検討し、保育士定数以上の配置で出かけた。

2階からの避難を考え、上靴を導入した。

工事関係者との密な連携を心がけ、工事車両用通路近くの通過時や避難訓練時には安全確保のための対応を確実にしていただいた。

駐車場スペースが約3分の2になり、駐車時間が少なくて済むような送迎時の受け入れ方を工夫した。また、駐車場入庫の際の右折問題、産業道路のUターンやバスレーン通過について交通ルールを守るよう、ルートの提示を行った。

水遊び、午睡時、食物アレルギー、食事中、水害や停電、断水時の保育等のマニュアルを見直し、全職員で再確認した。

(6) 食育・給食

畑での栽培を数多くできなかった分、年齢に応じたお手伝いとして、グリーンピースのさやむき、とうもろこしの皮むきなどを行った。スチームコンベクションでつくった焼き芋もアルミ箔に包んだまま提供し、これまで行っていたわらを燃やしての焼き芋のようないい匂いや温かさを感じるなど、五感で感じる食育を意識した。

盛り付けを変える工夫をしてみた。大皿に入れてつぎ分ける時（バイキング形式）もあれば、お弁当のようにケースに入れてみる時もあった。室内でも遠足気分を味わうなど、子ども達にも好評で、残食が少なかった。

非常食も回を重ねるにつれ、食べ慣れてきたし、パッククッキングも離乳食やアレルギー除去に対応できるようになった。

本園の非常食・備蓄に関する取り組みは、熊本県代表としてブロック別児童福祉施設給食関係者研修会（長崎）で発表する機会が与えられた。

食育活動一覧

	活動	郷土料理	食育だよりのテーマ
4月	入園お祝いのアンパンマンクッキー作り 園内お見知り会アンパンマンクッキー作り作業見学	八ばい汁 (宮崎県)	保育所給食とは
5月	トマト・きゅうり・ズッキーニ・南瓜・ゴーヤの苗を 手作りプランターに植える。 非常食体験（カルピス 乾パン）	石垣もち (大分県)	端午の節句にまつわるもの
6月	セレクト給食（噛むことを意識した献立） グリーンピースのさやとり	あめふり団子 汁（熊本県）	噛むことの大切さ
7月	野菜の苗、畑に移植 非常食体験（サバ缶どんぶり）	ごぼうといり この天ぷら (福岡県)	旬を伝えよう
8月	トマト・ゴーヤの収穫 とうもろこしの皮むき	ふくれがし (鹿児島県)	夏バテしない食事の工夫
9月	非常食体験（スキムミルク クラッカー） ゴーヤの収穫と、ゴーヤのサラダを食べる	けいらん (佐賀県)	親子で作ってみよう夏野菜 カレーレシピ
10月	年長児クッキング（クッキー） 春日ぼうぶらの収穫 春日ぼうぶらのスープ	かるかん (鹿児島県)	豆のおいしい季節です
11月	非常食体験（カルピス ビスコ）	そらきたもち (大分県)	手づかみ食べと離乳食
12月	クリスマスランチとクリスマスケーキ作り	魚ろっけ (佐賀県)	冬の食べもの
1月	非常食体験（湯煎カレー 離乳食と除去食） 焼き芋のおやつ	ちゃんぼん (長崎県)	七草がゆ
2月	創立記念日おやつでお祝い	いきなり団子 (熊本県)	アナフィラキシーってなあ に
3月	非常食体験（スキムミルク ビスケット） お別れパーティー リクエスト給食	サンガァーチクァ ーシー（沖縄県）	あぶらのおいしさ あぶらの選び方

(7) 保護者支援

仕事と育児に追われ、忘れ物が多かったり、連絡帳の記載が滞りがちな保護者、子どもへの接し方に助言をした方がよりよいと思われる保護者等には、その時々気持ちに寄り添って、ねぎらいの言葉をかけたり、思いを受けとめたりしてきた。

第二子、第三子誕生の際、誕生カードを贈り続けているが、今年度は「思いがけないプレゼントだった」と喜ばれることが多かった。

(8) 地域・関係機関との連携

●地域との連携

大江1町内粋・生サロンに参加した。また、発表会のために山の上団地集会所をお借りし、団地の方とも親しくなった。発表会は公開リハーサル時に地域の方をお招きした。

デイサービスぽぽろと交流をした。

●小学校との連携

校区内外の小学校・中学校の学校行事や交流会、連絡会に積極的に参加した。例年、園長や主任保育士、年長児担任が参加しているが、今年度大江小の学校保健委員会は、食育を含んだ内容だったため、栄養士も参加し、専門の立場から小学生に話をすることができた。

●実習生の受け入れ

4月24～27日 6月5～8日 8月28～31日 10月10～12日	九州中央リハビリテーション学院看護科3年（小児看護学臨地実習） 合計8人
5月17～19日	熊本学園大学附属中学校2年（福祉体験学習） 3人
7月26～28日	中央高校2年（高校生保育士体験） 2人
9月4～16日	熊本学園大学子ども家庭福祉学科2年 1人
9月12～14日	熊本市立西原中学校2年（ナイストライ）3人
9月26～28日	熊本市立白川中学校2年（ナイストライ）3人
2月5～19日	九州ルーテル学院大学人文学科こども専攻2年 1人
2月19日～3月1日	福岡こども短期大学1年 1人

保育者や看護師を希望する学生にとっては、生命を守る責任を感じる一方で、子ども達の笑顔に元気をもらい、この仕事のやりがいを感じてもらえたのではないかと思います。この他就職を考えた自主実習も4人受け入れた。

尚綱大学短期大学部（幼児教育学科）1年のキャリアカウンセリングに、本園保育士が卒業生として保育士の仕事について話した。これからもこのような機会があれば貢献していきたい。

8. 苦情解決

苦情解決体制

苦情解決責任者	新美美穂（ひかり幼児園園長）
苦情解決受付担当者	大津美穂（ひかり幼児園職員）
苦情解決第三者委員	寺本 晟（神水幼稚園前園長） 本田多恵子（大江小学校児童育成クラブ指導員） 鳥崎一郎（大江校区社会福祉協議会会長）

園の状況及び苦情について報告、助言を求めた。また法人顧問弁護士にも対応方法に助言をいただいた。今年度は次の苦情があった。

●駐車でマナー 4月

歩道に車を止めたまま避けない車がある。(駐車場は空いているのに、歩行者の自分にクラクションを鳴らされた) 構造上仕方ないことは理解できるが、予算が許せば交通整理要員の配置等考えていただきたい。→(対応) 駐車場に停めていなかったことから保護者でない可能性はあったが、真摯に受け止め、園長が挨拶運動、周囲の掃除を兼ねた見守り活動を翌朝から実施した。(現在も継続中)

●園舎改築に関すること 5~3月

説明会開催時期が遅い。アスベスト対策はどうなっているか。園舎の位置の変更ができないか。防音対策や建物の色彩はどうなっているか。騒音や振動がある →(対応) 近隣の十分なご理解を得ない状況で計画が進行したことを謝罪し、ひとつひとつ説明を行う。園舎解体作業は規定以上の作業手順で行い、解体前後及び解体中の空気環境測定でもアスベストの飛散に問題ないことが確認された。園舎の位置については、出来る限りの西側移動と面積の縮小を行い、設計変更をした。防音や窓の位置、色彩等配慮して決定していく。音や振動はおわびをしつつ、細心の注意を払って工事をしていただく。作業内容によっては、一時中止や日程変更で対応した。

●開所時の職員対応 8月

開所時間に登園した園児に対し、何時に家を出るのかの質問が、怒られているような雰囲気を感じさせている。保護者より開所時間の確認があった。→(対応) 園児及び保護者の心情を察し、謝罪した。開所直後や閉所時間間際の職員の表情や態度・施錠管理について、丁寧な対応を心がける。

●産業道路上の交通ルール違反 1月

ひかり幼児園先の信号(託麻本通りに入る信号、バスレーンがある場所)でUターンしたり、バスレーンを通過する保護者の車を確認している。やめてほしい。→(対応) 注意喚起の手紙及び望ましい通行ルートを示した地図を全保護者に配布した。新入園の保護者にも同様に行う。

9. 職員の資質向上

(1) 園長の責務

平成29年完成予定だった園舎改築が延期され、工事関係者との調整や、園行事などに苦慮したが、制約がある中でそれを感じさせない楽しい計画を立て、工夫をしながら健やかに生活できることを心がけた。延期は管理者として責任を感じるが、保護者、近隣及び工事関係者のご理解があったことを感謝する。工事期間は、10か月に及ぶがそれまで安全で滞りなく進行するよう祈るばかりである。

職員に対し個別に時間を取って面談をすることができなかった。職員数がいつもより少ないのでより一層頑張りを認めねぎらったり、年次有給休暇を取りやすい雰囲気をつくり、みんなで補い合う体制を心がけた。

職員は自己評価を行うと同時に、保護者に対し園の評価をアンケート形式でしていただき公表した。(7月) 保護者からは「おおむね園の様子がわかる」「職員は優しくて熱心」と良い評価をいただいた。ただ、この中で、精査していくと、園の方針や保育に対する考え方を伝えたり、個別の対応のあり方については、不十分な点があったと反省する。意識して改善していきたい。

(2) 研修実施記録(園内・園外)

職員は、以下の研修会に参加し、復命書を書いたり報告をして、共有化した。

また、「保育者のためのお仕事マナー」「食べない子の「食べられた!」をふやす幼児食」全国保育協議会発行『ぜんほきょう』の連載をコピーして全職員に配布した。(毎月・全12回)

月	対外研修	園内研修
4月		<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画その他の共有 1 日 ・子どもの貧困問題、人権擁護のためのセルフチェックリストによるふりかえり
5月	熊本市保育所等職員合同研修会「保健衛生（救命）研修会」9日 熊本市保育所等職員合同研修会第1回「障がい児保育研修会」10日 「保育を取り巻く情勢報告」（管理職）研修会 11日 園長研修会（発達支援）19日 熊本市保育園連盟保育研究大会（保育指針）27日 熊本市保育所等職員合同研修会「食品衛生研修会」30日	聖書会 9日
6月	春季保育者研修会（キリスト教保育 讃美歌）3日 熊本市子どもの食育推進ネットワーク地域研修会 5日 キリスト教保育連盟九州部会第78回保育者研修会（レッジョ・エミリヤの教育 ドキュメンテーション）16～17日 中央ブロック保育士会研修会（言葉が気になる子の支援）23日 中央ブロック主任保育士研修会（マナー接遇）29日 縣市合同女性部研修会 30日	聖書会 13日 <ul style="list-style-type: none"> ・共同体感覚・自己肯定感を育む実践記録（資料）を読み、自身の保育に活かす。
7月	中央ブロック給食部会研修会（食と栄養）13日 慈愛園会計実務担当職員研修会 25・26日	聖書会 11日 <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価と保育所評価を行う。
8月	リーダーセミナー（危機管理）10日 熊本市保育園連盟サマーセミナー（保育指針）12日 るうてる法人会連合講演会・分科会（フィンランド社会福祉、キリスト教）22～23日 熊本市保育所等職員合同研修会「年長児クラス保育担当者研修会」25日 熊本市保育所等職員合同研修会「食物アレルギー研修会」30日 熊本市子どもの食育推進ネットワーク校区自主グループ活動 28日	
9月	女性部特別研修会（保育指針）1日 熊本市保育園連盟部会連携研修会（食育）2日 熊本地区秋季保育者研修会（キリスト教保育）2日 看護師等研修会（子どもの視力）7日 中央ブロック給食部会研修会（乳製品を使ったレシピ）7日 熊本市保育所等職員合同研修会「主幹・主任保育士研修会」（子育て支援）7日	聖書会 5日 <ul style="list-style-type: none"> ・『日本一赤ちゃんが産まれる病院 熊本・わさもん医師の「改革」のヒミツ』より仕事の心構えを学ぶ ・サマーセミナー復講
10月	無期雇用転換に関する研修会 6日 看護師等研修会（子どもの歯科）12日 中央ブロック保育士会研修会（口腔発達）18日 食の安全セミナー（輸入食品の安全性）19日	聖書会 10日

	熊本市保育所等職員合同研修会第2回人権保育研修会 25日 熊本市子どもの食育推進ネットワーク区内自主グループ会議 30日	
11月	中央ブロック主任保育士研修会（保護者支援）7日 女性部研修会（マナー）9日 ブロック別児童福祉施設給食関係者研修会（非常食・備蓄他）10日 託麻原小学校訪問研修（小学校連携）14日 中央ブロック給食部会研修会（ふるさとの食）16日 熊本市保育園連盟部会連携研修会（保育指針）18日 熊本市保育所等職員合同研修会「保護者支援研修会」24日	聖書会 8日
12月	キリスト教保育連盟熊本地区クリスマス 2日 熊本市保育園連盟管理者研修会（危機管理、給付費等事務関係）15日	
1月	熊本市保育園連盟部会連携研修会（子どもの睡眠）13日 中央ブロック給食部会研修会（おやつ）18日 熊本市保育所等職員合同研修会「人権保育（虐待）研修会」18日 熊本市子どもの食育推進ネットワーク全体研修会（食育）19日 中央ブロック保育士会研修会（保護者支援）24日	聖書会 9日 ケース検討会 19日
2月	熊本市子どもの食育推進ネットワーク自主グループ会議 1日 社会保険労務士法人上田事務所研修会（人材確保）20日	・理念（慈愛園ビジョン）ひかりのSWOT分析 10日 聖書会 14日 ・バンハート先生に学ぶ（愛献会復講）
3月	社会福祉法人慈愛園新任職員研修会（法人理念他）30日	聖書会 15日

10. 施設整備

・園舎改築に関する報告

平成29年6月 東側に園舎があることによる圧迫感、防音、日照権に配慮した西側への移動及び面積の変更を決議し、設計変更を行う。

平成29年10月30日 計画変更確認を受ける。

平成29年11月20日 着工 第1期解体工事終了後、12月27日起工式を行う。

平成30年2月26日 鉄骨建て方に入る。

平成30年3月12日 新園舎西側足場のスペース確保のため既存園舎2階ひさし部分を解体する。

1 1. 活動報告

月	日	行 事	内 容
4 月	1	*建物点検日	*園内外を点検リストに従い点検報告を行う（毎月1日定例）
	1	入園式	新入園児9人と保護者を迎える
	3	入園・進級合同礼拝	入園進級を感謝し、クラスや職員紹介をする
	15	お見知り会	園内にて、コーナーを回るウォークラリー形式のお楽しみ会と親睦を深める昼食を親子で行う。
	19	ロアッソサッカー教室	*さくら・ゆり組のサッカー教室（毎月第3水曜日定例）
	25	内科健診	園医による内科健診
	26	*誕生会	*みんなで誕生者を祝う（毎月定例）
	27	ぽぽろ交流会	ゆり組17人、老人デイサービスぽぽろに訪問し交流をする。
5 月	22	避難訓練 幼年消防クラブ結成式	*発火場所時間を想定して訓練する（毎月第4火曜日定例） 中央消防署の指導による幼年消防クラブ結成式を行う。避難訓練の様子も見て頂き、職員は水消火器で消火訓練をした
6 月	2	歯科健診	園医による歯科健診
	5	花の日礼拝と訪問	警察学校、消防署、銭高組（マンション工事現場事務所）などへ花束とカードを添えて訪問。角本牧師も同行
	6	フッ素洗口指導	歯科衛生士より虫歯の話やフッ素洗口説明
7 月	18	ゆり組保育参観	ホールでの活動及び竹馬ができるようになったことを参観してもらう。
	20		
	24-28	ふじ組個人懇談週間	担任と保護者が園や家庭での様子を話しあう。
	31~4	もも組個人懇談週間	担任と保護者が園や家庭での様子を話しあう。
8 月	4	夏まつり	保育時間中に夏まつり。コーナーを回った後、おやつや昼食を屋台風にして楽しんだ。
	18 25	愛光プール交流の日	愛光幼児園のプールを使わせてもらい、食事やふれあい遊びなど交流をする。
9 月	30	運動会	大江小体育館にて運動会。宗教改革500年を記念して万国旗はドイツ特集、行進曲・駆け足曲をドイツの曲から選ぶ。今年初めてクラス対抗綱引き大会（大人の競技）をして、好評だった。
10 月	13	大江教会コンサート	広島オルガニスト吉田先生がソプラノ歌手を連れて来熊。大江教会でのコンサートにゆり・さくら組33人が参加する。
	14・ 28	さくら組個人懇談	保護者と担任が子どもの育ちなどについて個人懇談を行う
	19	内科健診	園医による内科健診
	24・ 25	お泊り保育	ゆり組18人雑草の森にて野外活動と宿泊を行う。
	27	いもほり遠足	貸切バスで広安愛児園へ行きいもほりを楽しむ。ゆり・さくら・ふじ・もも組61人
11 月	6	収穫感謝礼拝・幼児祝福礼拝	家庭より果物・野菜を持ち寄り、感謝の礼拝をする。また、角本牧師より祝福をしていただく。中島神学生も来園。

	7	収穫感謝訪問	果物や野菜にカードを添えて、近隣や警察学校等を訪問する
	20	園舎改築工事着工	ホールを保育室として保育開始。樹木伐採等の準備の後、第1期園舎解体が始まる。
12月	9	クリスマス	熊本ナザレン教会にてクリスマスの礼拝と祝会を行う。
	15	山の上団地いきいきサロン	ゆり・さくら組 30 人で訪問。クリスマスの歌やハンドベル演奏をして喜ばれた
	22	誕生会とクリスマスランチ	誕生会にサンタさん来園。クリスマスランチとしてバイキング会食をする
	27	起工式 いちょうの木伐採	ホールにて全園児と法人・工事関係者が集まり、工事の安全を祈る礼拝を行う。その後いちょうの木を伐採する。最後のいちょうの葉でしおりをつくり、園児や関係者にプレゼントした。
1月	13・27	ゆり組個人懇談	保護者と子どもの育ちや小学校のことを個人懇談する
2月	7	発表会公開リハーサル	山の上団地集会室にて、地域の方を招いて発表会リハーサルを行う。
	9	創立記念礼拝	角本牧師と共に創立 70 周年記念礼拝をまもる。創立から今日までの園舎や保育の様子を中心に写真を掲示した
	10	発表会	山の上団地集会室にて発表会を行う。
	15	託麻原小学校幼保交流会	ゆり組 12 人託麻原小学校を訪問する
	20	ゆり組卒園遠足	ゆり組 17 人御船町恐竜博物館を見学する。
	21	内科健診	未受診者の内科健診
	26	神水教会礼拝	ゆり組 15 人は愛光幼稚園年長児と共に、神水教会で礼拝をまもった後、交流を深める。
28	アンコール発表会	インフルエンザで欠席していた子ども達の為に、発表会を再度行う。	
3月	1	現代美術館見学	ゆり・さくら組 33 人現代美術館にて、エリック・カール展及び熊本城特撮美術展を見学する。
	6	さくら・ふじ・もも組遠足	さくら・ふじ組 28 人は堂免公園、もも組 18 人は水道端公園に遠足に行く。
	8	避難訓練 幼年消防クラブ修了式	避難訓練の様子を見てもらい、速やかな避難を褒められる。中央消防署より幼年消防クラブ修了証が手渡される
	14	ふじ組サッカー教室体験	ふじ組 11 人コーチの指導でボール遊びとサッカー体験をする。
	16	お別れパーティー	ゆり組と退職者を囲んだ集会後、ピクニック形式で食事をする
	23	歯科健診	未受診者の歯科健診
	24	保育証書授与式（卒園式）	ゆり組 17 人が卒園する